

新 消防長・消防団長 ご紹介



発行人
公益財団法人 愛媛県消防協会
松山市築山町1番35号
電話(921)8517番
会長 大西 浩司
一部55円



松山市消防局
局長
西岡 克仁

この度、4月1日付で、松山市消防局長を拝命しました西岡克仁です。
発生が危惧される南海トラフ巨大地震や激甚化する自然災害に対応するため、消防団をはじめとする地域の皆様との連携を強化し、地域防災力の向上に努めてまいります。ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



今治市消防本部
消防長
松木 洋明

この度、4月1日付で今治市消防長を拝命いたしました松木洋明です。
前年度末に発生した今治市長沢の林野火災では、県内外から多数の応援隊の協力をいただきました。ありがとうございました。
このような大規模災害では、関係機関との連携が重要で、激甚化・多様化する災害に即時対応できる組織作りを進めたいと思います。また消防団をはじめ自主防災組織との連携も強化を図り、市域全体の防災力向上を目指したいと思っております。今後ともご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



八幡浜地区施設事務組合消防本部
消防長
木下 和彦

4月1日付けをもちまして八幡浜地区施設事務組合消防長を拝命いたしました木下和彦です。
近年の激甚化する災害に対応するため、消防団・自主防災組織との更なる連携のもと、住民の皆様が安全・安心に過ごせる町づくりを目指し、地域防災力の向上に努めてまいります。今後ともご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

二〇二五年度全国統一防火標語
急ぐ日も 足止め火を止め
準備よし



四国中央市消防本部
消防長
坂上 和人

この度、4月1日付けをもちまして、四国中央市消防長の職に命ぜられ、伝統ある組織を担う重責を痛感いたしますと共に大変、身の引き締まる思いであります。誰も安心して暮らせる社会を確保していくため、消防団や、自主防災組織並びに各関係機関と連携を図りながら、市民の皆様方から全幅の信頼を頂けるよう全力で消防行政を推進してまいります。今後ともご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。就任のご挨拶といたします。



伊予消防等事務組合消防本部
消防長
泉 喜三郎

令和7年4月1日付で伊予消防等事務組合消防本部消防長を拝命しました泉喜三郎です。
近年の複雑多様化・激甚化する災害から、地域住民の皆様の生命、身体、財産を守るという消防の使命を達成するために、消防団をはじめとした各防災機関との連携強化を図り、安心安全な地域づくりを目指して、更なる地域防災力の向上に努めてまいります。今後ともご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



愛南町消防本部
消防長
立花 慶司

この度、4月1日付けをもちまして愛南町消防長を拝命いたしました立花慶司です。
未来を見据えた消防力と防災力の強化のため、自主防災会、消防団並びに関係機関との連携を密にし、多様化する災害に迅速、的確に対応し安心安全で過ごせる町作りを職員一丸となって目指します。今後ともご支援、ご厚情を賜りますようお願い申し上げます。



東温市消防本部
消防長
池川 忠生

本年4月1日付けをもちまして、東温市消防本部消防長を拝命いたしました池川忠生です。
就任してその責任の重大さを痛感するとともに、身の引き締まる思いであります。
住民の生命、身体及び財産を守るため、消防団をはじめとした関係機関との連携を深め、地域防災力の向上に努めてまいります。今後とも、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



砥部町消防団
団長
佐川 照福

この度、4月1日付で砥部町消防団長に就任いたしました。消防団は、地域防災の要であるため住民から期待されており、団員の役割は益々重要になっております。「地域住民の生命・身体・財産を守る」という消防団の使命を念頭に置き、「安全で安心なまちづくり」を目指し、団員一人ひとりが防災意識を高め、関係機関と連携強化を図りながら、住民に信頼される消防団づくりを進めてまいります。今後ともご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



鬼北町消防団
団長
新本 治郎

この度、鬼北町消防団長を拝命いたしました新本治郎です。
鬼北町においては年々人口減少及び高齢化が進んでおり、消防団員の成り手が少なくなっておりますが、その中でも消防団員と地域住民が手を取り合い、町の防災力の維持向上に努めております。
「自分たちの地域は自分たちで守る」という消防団精神のもと、活動に取り組んでまいりますので、今後ともご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



シバウラのロングセラー。空冷ポンプがマイナーチェンジ。デザインを一新するとともに操作性を向上。



空冷式消防ポンプ
FT510
B-2級
FT460
B-3級

現場で求める性能をこの1台に。新型ECU・OKモニター搭載により安全性と基本性能が向上。



水冷F式消防ポンプ
FF510
B-2級
FF460
B-3級

SHIBAURA
芝浦消防ポンプ愛媛県総代理店
有限会社
愛媛芝浦ポンプ商会
愛媛県松山市南高井町1146番地1
TEL: 089-961-4356
FAX: 050-3451-8393
e-mail: e-shibapon@grace.ocn.ne.jp

第51回消防団幹部特別研修に参加して



宇和島市消防団 団長 梶田 浩

令和7年1月14日から17日までの四日間、東京都の新しくなった日本消防会館で開催された「第51回消防団幹部特別研修」に全国より47名の消防団幹部が参加し、熱い研修を行いました。日本消防会館は初めての訪問で、屋上に設置された慰霊碑も初めて見る事ができました。

個人的には、7月末の消防大学校の入学に続き本年度二度目の研修とあって、若干の余裕をもって参加することができ、その分集中して研修に臨むことができました。

研修内容については、日本消防協会の秋本会長の講話に始まり、消防庁による消防行政について、火災・地震・防災と実際に活動現場で必要な講義、糸井川の活動事例、惨事ストレス、危機管理等の幹部にとってはこれらとでも重要になってくる講義、東京消防庁本部の訓練視察など様々な研修がありました。なかでも印象に残ったのは、研修生が班に分かれて進める課題研究討議で、消防団が抱える多様な問題について深く話し合うことができ、同じ問題を抱えていたり、特有の問題があったりと大変勉強になりました。

今回の研修に参加し、消防活動に必要な様々な知識を学ぶとともに、全国の幹部の方々と交流を図ることができ、今でも情報交換を続け、消防団について意見交換をしています。この貴重な経験をこれからの消防団活動に生かし、未曾有の災害にも臨機応変に対応できる、時代に即した持続可能な新しい消防団と進化できるよう、その礎となればと思います。



第24回消防団幹部候補特別研修(女性の部)に参加して



新居浜市消防団 団員 伊藤 唯

愛媛県の代表として日本消防会館へ3日間の研修に行きました。各都道府県から1〜3名程度が集まり、総員85名の大規模な研修会でした。

1日目は日本消防協会会長や総務省消防庁の講師の方から地域防災に関する貴重なお話を聞きました。昨年完成したばかりの会館見学もさせてもらい、ニッショールホールの立派な装飾を見る事ができました。意見交換会では、消防協会の方や全国から集まったたくさんの方たちと名刺交換をしたりたくさんお話ししたりできて、仲を深めることができました。

2日目は元東京消防庁消防署長から女性消防団員のこれからの課題についてや、大学教授に気象に関するお話を聞きました。バスで移動し、そなエリア東京にも行きました。大地震が起きた時にどのように行動するべきなのか、タブレットを使いクイズ形式で災害体験をしました。その他にも防災グッズの展示や人それぞれの特徴に合った備えの例がありとても勉強になりました。また班に分かれての課題討議では、若い世代の消防団員を確保するための入団促進対策について話し合いました。班の中で若い世代の消防団員を確保するためにどのような活動をしているのかを発表し、何が一番効果的なのかをまとめました。

3日目は課題討議発表でした。私たちの班は、若い世代がよく使うSNSを用いた広報活動が一番効果的だと考えました。まず、女性消防団という存在があまり知られていないため、SNSで存在を知ってもらうことが大切だとまとめました。その他にもマスコットキャラクターの作成や、広報車での広報活動、人が多く集まる場所やイベントでのチラシ配りなどたくさん入団促進対策がありました。他の班の発表では、自分たちの班とは違ったたくさん方法があり、とても勉強になりました。

今回の研修を受け、学んだことをこれからの活動に活かしていきたいと思いました。また、消防団員として存在感を持ち、女性団員としても活躍し地域貢献していきたいと思いました。



新居浜市消防団 団員 伊藤 愛莉

まず始めに、所属している各団の取り組みについて意見を出し合いました。広報誌を作って配布し、各公共機関などにチラシを置いて幅広い世代に目を通して頂けるようにしている所や、駅などでビラ配りをしてアピール活動しており、受け取ってくださる方は、駅を利用しての学生さんが多いということでした。またスパーやコンビニなどで仕事帰りにお買い物をして来るお客さんをメインに夕方午後6時〜アピール活動や市内のイベントでブースを作って広報活動を行ったり缶バッジを作成し、子育て世代を中心に配布したり市のホームページで消防団員について紹介をしている所もありました。また、地域テレビに月に1回団員が出演してPR活動、さらに広報車で地域を回りPRを行っている所もありました。

次に、このようにPR活動を行っているのに対し、なぜ人が集まらないのか話し合いました。消防団の活動とはどんなことをしているか分からなく不透明なのではないか、入団したのはいけれど馴染めるかどうか心配、楽しく活動できるか不安と思っている方もいらっしゃるのかな。との意見もありました。

また、「若い世代」となると20代から30代の方のことを指すと考え、家庭との両立や、家族の理解を得ることが難しいのではないのか、と言う意見もありました。

最後に、どうしたら若い世代の消防団員を増やせるか、入団促進対策について話し合いました。団員になると食事の割引や飲み物無料などの若者に分かりやすい消防団の特権があると良い、就職活動時のアピール材料になる、若者がよく使うバスや電車などの公共交通機関、SNSなどに広告を流す、など様々な意見がありました。そして託児所があれば、子育て世代が入りやすいのではないかと、入団してからの不安があるのであれば体験入団をして消防活動を知ってもらえばよいのではないかと、イベントで消火器や避難場所などの体験ブースをもっと増やしてみる、などの意見もありました。色々な消防団の取り組みなどの話しを聞く事ができて大変いい経験になりました。



令和6年度共済事業による車両交付

日本消防協会消防団員等福祉共済の福祉増進事業、防火防災訓練災害補償等共済の還元事業及び全日本消防人共済会の教育広報事業として、日本消防協会から、鬼北町消防団へ消防団活動車・防災活動車(軽バン型4人乗り)が交付されました。



Follow me QR code for Instagram PR_EHIME_SYOUBOU. Text: 愛媛県消防協会公式のInstagramはじめました! 20市町の活動情報や防災お役立ち情報を発信中です(^-^)/ みんなで消防団を広めていきましょう!

OGAWA 仕様 消防ポンプ自動車(Made In 愛媛). 豊富な収納力が1台2役分の活躍を。多くの資機材を積み込みながらも、初期消火に力を発揮する水槽を搭載。コンパクトにまとめあげたCD-I. 小川ポンプ工業株式会社 愛媛支社. TEL: 089-972-2392 FAX: 089-972-2400 E-mail: ehime@ogawa-pump.co.jp

第24回消防団幹部候補中央特別研修に参加して



砥部町消防団 第7分団 分団長 石田 英久



西条市消防団 丹原分団 班長 行元 大視



鬼北町消防団 団員 宮崎 将大

1月29日から31日の3日間、第24回消防団幹部候補中央特別研修に参加しました。今回の研修では座学と課題討議があり、日本消防協会長の講話をはじめ、「消防団を中核とした地域防災力の充実強化」「震災からの教訓」「危機管理」「気象、風水害の観点」「活動事例」を学びました。

今回特に、「活動事例」を聞くことができて非常に参考になりました。「活動事例」では、平成30年7月豪雨における消防団活動ということで広島県呉市消防団長の講話がありました。今まで経験したことない自然災害で、川の氾濫、池の越水、防災倉庫の水没、土砂崩れの発生などがあり、この豪雨災害後に倉庫の設置場所、救命ボート置き場の見直し等を行ったそうです。自分たちも備品の点検、見直し等を行いました。また、行方不明者の捜索に関しては、指示する側として団員の心的ストレス、トラウマになる可能性も考え、活動の指示をし、何かあればケアを行えるような体制をつくっておく必要があると強く思いました。

次に課題討議では、「若い世代の消防団員を確保するための入団促進対策について」というテーマで話し合いを行いました。まず消防団への加入の現状について話し合いました。どの県も「忙しい」「厳しそう」「そもそも若い人がいない」などの理由から新入団員の確保には苦戦しているようでした。その他には、「危機感の薄さ」「自分には関係ない」「家族や会社からの理解が得られない」「活動内容が不透明」などの意見があり、これらを解決するためには、地域の祭りやイベントに参加し子供達に活動のアピールを行ったり、親には放水体験してもらったりなど消防団活動に興味をもってもらうよう地道な活動を続け地域との繋がりを高め、他人事ではなく自分事として考えてもらう必要があると思いました。

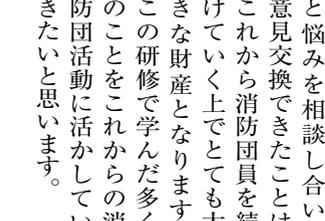
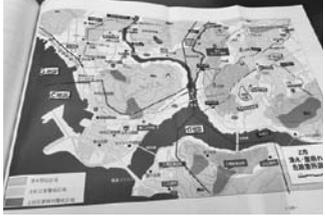
消防庁の地域防災力の充実強化の取り組みでは、消防団員の入団促進・地域企業等との連携事例の紹介、また救助用資材等搭載型消防車両の無償貸付事業を活用し分団にバイク隊の配備事例、消防団設備整備費補助金を活用し分団資器材の強化事例、デジタル技術(アプリ・SNS機能)の活用し災害発生時に被災状況の迅速な情報共有、出動指令から出動状況の把握、現場映像の情報共有などの事例を紹介しました。

今後の当市消防団力の向上を目指し、活用を検討する事も必要であると考えます。危機管理講習の中では「災害対策本部運営ゲーム」という項目が大変勉強になりました。これは仮想の町の消防団本部(研修生)が状況付与役から、時間の経過と共に次々に付与される情報を地図上に災害発生状況をまとめながら、各分団の配置・対応を、風水害の警戒期から発災直後にかけての動きを疑似体験するものでした。

情報付与役からは、老人ホームから多数数の利用者などをどこに避難させるか、寝たきりの親がいて自分達だけでは避難が難しいので、消防団の支援をして欲しいなど、少子高齢化が進む近年、必ず起こりうるであろう内容も含まれており、いかに適材適所に人材配置をするか、そして指示内容は適切であるかを思案するとても良い機会となりました。

平成30年7月広島県豪雨における消防団活動の講話では団長自らの経験談を伺い、発災時においては、地域住民、消防、警察、自衛隊などの各分野と如何に連携をとれるかが重要であること、また、団員自ら被災しながらも、団活動を行う大変さ、住民の被災や仲間の殉職を目の当たりにし、現在でもストレスを抱えている団員が多数いるとの現状を知り、大変良い教訓になりました。

今回の研修では、今後の消防団活動で必要とされるリーダー像や、団員のマネジメント方法について学び、また、全国各地の仲間達との交流の中で得た知識を、今後の消防団活動に生かせるよう行動をしていきたいと思います。



最強コンビ



トーハツ VCPROIII



キンパイスーパーランナーホース

ポンプ操作

株式会社 ヤマダ

1910年創業



小型消防ポンプVFシリーズ 電子制御 燃料噴射装置



消防ポンプ自動車 化学消防自動車



テイセン救助工作車 キンバイ消防ホース



ヤマトプロテック 粉末(ABC) 消火器

〒790-0062 松山市南江戸1丁目2番26号

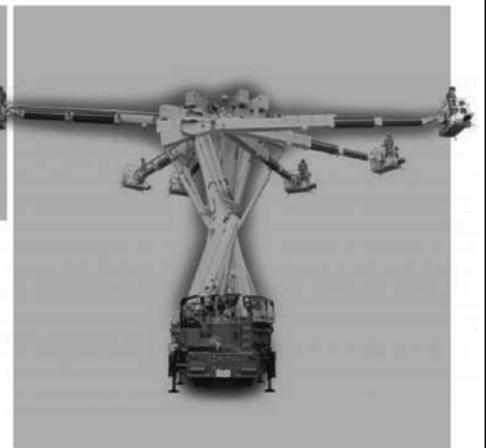
TEL: (089) 947-2295 | FAX: (089) 945-3976 | www.yamada-pump.co.jp

株式会社 新日本ライフテック

http://www.sn-it.com

消防防災設備 / 給排水設備 設計・施工・保守
各種消防ポンプ車 / 救急車 / 高度医療機器 販売
防災用品 / 各種消火設備 販売

日本機械工業 ヤマトプロテック
株式会社代理店 株式会社代理店



南予営業所

〒796-0201 愛媛県八幡浜市保内町川之石1-237-130
tel.0894-36-3322 fax.0894-36-3323

本社

〒790-0054 愛媛県松山市空港通2丁目18番32号
tel.089-908-5766 fax.089-908-5767

一般住民の防災活動等



今治市女性防火クラブ
連絡協議会
会長 森田悦子

私が居住している今治市は、愛媛県の北東部・瀬戸内海のほぼ中央部に位置し、高縄半島と、芸予諸島にまたがっており、中心市街地がある平野部や、緑豊かな山間部、そして、瀬戸内しまなみ海道、安芸灘とびしま海道が架かる世界有数の多島美を誇る島しょ部からなる変化に富んだ地勢となっています。

平成17年1月に12市町村の合併により、人口18万人となり、松山市に次ぐ県下第2の都市に生まれ変わりました。瀬戸内海の風光明媚な景観と、大山祇神社や村上海賊の海城址などの歴史遺産を誇る観光都市として、また、国内における建造集積数は約2割を占め、日本の海運企業が所有する外航船の約4割を今治の船主が占めるなど、造船・海運都市としても将来が期待されています。

私たち女性防火クラブは、地域の防災訓練やイベントに積極的に参加し啓発活動を行い、他の防災組織や行政との連携を深め地域全体の防災力向上を図っています。

また女性防火クラブ員は、定期的な研修や訓練を通じて、防火・防災に関する知識や技術を習得し、他の地域との情報交換を行っています。

一方で、女性防火クラブの活動で役員の選出や会議、イベント活動参加への負担が挙げられ、クラブ員の高齢化や人材不足に関する課題もあります。

今後の活動として地域住民が参加しやすい環境づくりが重要となり、地域の特性やニーズに応じた活動を推進し、持続可能な防災体制の構築を目指していきたいと思っております。



女性消防団だより



砥部町消防団
第6分団(女性分団)
団員 村上琉奈

みなさん、こんにちは！

私が所属する砥部町消防団第6分団(女性分団)には、大学生から社会人まで、砥部町をこよなく愛するメンバーが集まっています。その一員として活動する中で、日々感じるのは「砥部町をもっと明るく盛り上げたい!」「人のために何かしたい!」「砥部町のために今、私たちができることは何か?」という仲間たちとの熱い想いと、それが形になる瞬間のやりがいです。

そんな想いを持った仲間たちが、和気あいあいとしながらも真剣に活動しています。個性豊かな仲間たちと共に過ごす時間は本当に楽しく、消防団での活動を通じて多くの学びや成長の機会を得ています。

私たちの活動は多岐にわたります。防災訓練での応急手当講習や啓発活動、消防学校での研修では規律訓練や一次救命処置を学びます。さらに、高齢者の一人暮らし宅への防火訪問など、「地域の安全を守るためにできること」を実践しています。

そして今、私たちは今年10月に開催される全国女性消防操法大会に向けて、上位入賞を目標に掲げ、日々練習に励んでいます!

消防用機械器具の取り扱いや基本技術を学び、安全・確実に迅速に行動できる力を養いながら技術向上に取り組み、チームワークの大切さを改めて実感する日々です。

また、消防団員加入促進や広報活動の一環として、昨年5月から女性分団のインスタグラムを運用しています。先日参加したSNS運用セミナーでは、事例のひとつとしてご紹介させていただきました。編集から投稿まで1人で行っていましたが、女性団員や消防職員の皆さんに撮影を手伝ってもらいながら、自分のペースで楽しく運営しています。投稿を見たら「消防団ってなんか楽しそう!」とワクワクしてもらえそうな動画作りを心がけていますので、少しでも興味を持っていただけたら、ぜひインスタグラムのフォローをよろしくお願いします!



支部だより



伊方町消防団について

伊方町役場
根来孝多

伊方町は、日本一細長い佐田岬半島に位置しており、温暖な気候の下、急峻な斜面には段々畑が広がっています。柑橘栽培を主体とした農業と、瀬戸内海および宇和海に広がる良好な漁場を資源とした漁業が盛んな、実り豊かな美しい自然に恵まれた風光明媚な地域です。

自然との共存によって健康的な生活を営む一方で、佐田岬半島の地形特性として、平地が少なく、急傾斜地などの危険地域が点在しています。長い海岸線沿いや急傾斜地に密集する地区が多く、浸水害や土砂災害が発生する可能性が高いことは周知の事実です。消防団は地域の安全を守るために欠かせない存在であり、日々の訓練や活動を通じて地域住民の安心・安全を支える重要な役割を果たしています。

近年、自然災害が頻発する中、消防団の活動はますます重要性を増しています。また、消防団の活動は単なる消火活動にとどまらず、地域の防災意識を高める啓発活動や、災害時の支援体制の構築にも寄与しています。地域住民との信頼関係を築くことが、災害時の迅速な対応につながります。

町としても、各種消防車両や消防設備の更新など、消防団活動を円滑に行うための施策を展開し、町民の安心・安全な暮らしを守るため全力で取り組んで参ります。



災害に強いまちづくりをお手伝いします

家庭用からプロ仕様まで 消防・防災の専門商社

- ◎消防ポンプ自動車
- ◎消防ホース
- ◎防災・救助機器
- ◎避難用品
- ◎小型動力ポンプ
- ◎消防被服
- ◎消火器・消火装置
- ◎自主防災・企業防災用品



人と地球のいのちを守る
MORITA
消防ポンプ自動車No.1メーカー

新基準活動服
新基準による
消防団員活動服

SHIBaura
消防ポンプ・防災機器
シバウラ可搬消防ポンプ

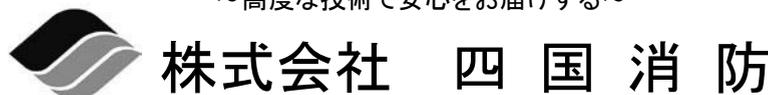
ジェットホース
操法大会最適ホース
コンペVシリーズ

(株)岩本商会 〒790-0067 松山市大手町1丁目10番地1

Tel.089(947)2111 Fax.089(947)2116
高松支店/宇和島営業所/姫原倉庫 <http://www.iwamotosyoukai.co.jp>

- 点検・報告・整備・工事
 - 消防用設備等・特殊消防用設備等
 - 防火対象物点検・防災管理点検
 - 防火設備点検
 - 連結送水管の配管耐圧試験
 - 消防用ホース耐圧試験
- 消防用機器等の販売
 - 各種消火器
 - 住宅用火災警報器
 - その他各種防災用品
 - 消防ポンプ自動車

～高度な技術で安心をお届けする～



〒790-0952 松山市朝生田町1丁目7番21号
電話 (089)934-4800
FAX (089)934-5533
E-mail : yons@ss4800.jp